2．貯留槽（ボイラーブロー水）(構築物)
⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額の概要
①　用途　貯槽
②　種類　構築物
③　場所　富山県富山市五福3190
④　帳簿価額　1,039,183円
⑵　減損の認識に至った経緯
ボイラー装置を今年度から使用しなくなったことにより、地下タンクの危険物取扱所廃止届を平成24年10月25日に富山消防署へ提出し、当該貯槽も今後使用しないことから減損を認識しています。
⑶　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の内訳
損益計算書に計上した金額　0円
損益計算書に計上していない金額　1,039,182円
⑷　回収可能サービス価額の算定方法
現時点では使用予定はないため取り壊しを予定しており、使用や売却が見込まれる状況ではないことから、回収可能サービス価額は０円とし、備忘価額（１円）で評価しています。

減損の兆候が認められた固定資産

1　古府宿舎（土地）
⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額の概要
①　用途　福利厚生用
②　種類　土地
③　場所　富山県高岡市
④　帳簿価額　119,700,000円
⑵　認められた減損の兆候の概要
・当該土地のうえに建築されている宿舎の入居者数が承継時に想定した年間入居者数と比較して減少し、当該宿舎の稼働率が著しく低下しているため、減損の兆候があるものと判断しました。
⑶　「固定資産の減損に係る国立大学法人会計基準」及び「固定資産の減損に係る国立大学法人会計基準注解（以下「減損会計基準」という）「第４減損の認識」２に掲げる要件を満たしている根拠
・当該宿舎は現在、稼働率・入居率が低下していますが、保守管理が恒常的に行われており、また、今後、国の合同宿舎の返還計画（平成27年３月31日までに返還）を進めていくための代替宿舎を確保する必要があり、将来の使用稼働率の上昇を見込んでいることから減損を認識していません。

2　古府宿舎（建物、建物附属設備及び構築物）
⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額の概要
①　用途　福利厚生用
②　種類　建物（建物附属設備及び構築物を含む。）
③　場所　富山県高岡市
④　帳簿価額　59,603,974円
⑵　認められた減損の兆候の概要
・当該宿舎の入居者数が承継時に想定した年間入居者数と比較して減少し、当該宿舎の稼働率が著しく低下しているため、減損の兆候があるものと判断しました。
⑶　減損の兆候の有無について、減損会計基準「第３減損の兆候」３に基づき、複数の固定資産を一体として判定した場合には、当該資産の概要及び当該資産が一体としてそのサービスを提供するものと認めた理由
・当該宿舎に附帯している建物附属設備である給水設備等が一体として使用されているためです。
⑷　減損会計基準「第４減損の認識」２に掲げる要件を満たしている根拠
・当該宿舎は現在、稼働率・入居率が低下していますが、保守管理が恒常的に行われており、また、今後、国の合同宿舎の返還計画（平成27年３月31日までに返還）を進めていくための代替宿舎を確保する必要があり、将来の使用稼働率の上昇を見込んでいることから減損を認識していません。

金融商品の時価等の開示に関する注記事項

1．金融商品の状況に関する事項
当法人は、資金運用については預金、国債、地方債に限定し、資金調達については国立大学財務・経営センターと民間金融機関からの借入に拠っております。
資金運用にあたっては国立大学法人法第35条が準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき公債のみを保有しており株式等は保有しておりません。また、未収附属病院収入は、国立大学法人富山大学予算決算及び出納事務取扱規則に沿ってリスク管理を行っております。
国立大学財務・経営センター債務負担金及び長期借入金（一部は民間金融機関からの借入金）の使途は附属病院及び学生寮の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入を実施しております。
2．金融商品の時価等に関する事項
期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。
（単位：円）

	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差　額
⑴　投資有価証券及び有価証券	890,241,866	907,355,000	17,113,134
⑵　現金及び預金	9,701,717,919	9,701,717,919	—
⑶　未収附属病院収入	2,697,599,460		
徴収不能引当金（＊２）	△　28,252,935		
	2,669,346,525	2,669,346,525	—
⑷　国立大学財務・経営センター債務負担金及び長期借入金	(16,440,720,403)	(17,043,300,646)	△　602,580,243
⑸　リース債務	(1,623,210,760)	(1,567,831,178)	55,379,582
⑹　未払金	(5,808,757,424)	(5,808,757,424)	—

（＊１）　負債に計上されているものは、(　) で示してあります。
（＊２）　未収附属病院収入に個別に計上している徴収不能引当金を控除しております。
（注１）　金融商品の時価の算定方法並びに有価証券等に関する事項
⑴　投資有価証券及び有価証券
これらの時価について、取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。
⑵　現金及び預金並びに⑶　未収附属病院収入
これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。
⑷　国立大学財務・経営センター債務負担金及び長期借入金並びに⑸　リース債務
これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入又は、リース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法により算定しております。
⑹　未払金
短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

賃貸等不動産の時価等の開示に関する注記事項

当法人は富山県内において、賃貸等不動産を保有しておりますが、賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。